

三井住友ファイナンス & リース株式会社 (2020 年 グリーンボンド)

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2022 年 2 月 24 日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2277

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4510 7394

Ayaka Okumura, ayaka.okumura@sustainalytics.com

はじめに

2020 年 3 月、三井住友ファイナンス & リース株式会社（以下、「SMFL」）は、再生可能エネルギー及びグリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス及び/又はリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行し（以下、「グリーンボンド」）、その調達資金を 2021 年 12 月 31 日時点で合計 2 件の再生可能エネルギーに関わるプロジェクトに充当しました。2022 年 2 月、SMFL はサステナリティクスに対して、グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトを審査し、これらのプロジェクトが SMFL のグリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）¹で設定された資金用途やレポートイングのクライテリアを満たしているかについて評価を依頼しました。本レビューは、2021 年 2 月に行ったサステナリティクスによる SMFL のグリーンボンドに対するレビューに続く、2 回目のレビューとなります²。

評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2020 年 3 月から 2021 年 12 月の間に調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の用途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金用途クライテリアに対するインパクト指標に関する報告

充当を受けた調達資金の用途のカテゴリーに対する適格クライテリア及び関連するインパクト指標を表 1 に示します。

表 1：調達資金の用途、適格クライテリア及びインパクト指標

調達資金の用途	適格クライテリア	インパクト指標
再生可能エネルギー	<p>以下のa～eのいずれかの再生可能エネルギー発電事業に係る発電設備の購入、開発、建設、運営等に関する支出及びファイナンス 但し、i)グリーンボンドの発行日から遡って24ヶ月以内に事業を開始したもの、ii)グリーンボンドの発行日以後に事業開始が予定されたものに限定する</p> <p>a. 太陽光発電 b. 風力発電 c. バイオマス発電（持続可能な原料や植物由来の廃棄物を使ったものに限定） d. 地熱発電</p>	<p>発電量（kwh：出力規格に基づく理論値）及び CO₂ 排出削減量（t-CO₂：出力規格に基づく理論値）</p>

¹ 三井住友ファイナンス & リース株式会社グリーンボンドフレームワークは、こちらよりご覧頂けます：

<https://www.smfl.co.jp/future/environment/greenbond/>

² サステナリティクスによる SMFL のグリーンボンドの過去のアニュアルレビューはこちらよりご覧頂けます：

https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/sumitomo-mitsui-finance-and-leasing-company-limited-green-bond-annual-review-japanese.pdf?sfvrsn=461c1cbb_3

<p>グリーンビルディング</p>	<p>e. 小水力発電（発電量が 25MW 以下のもの）</p> <p>以下の a～e のいずれかの環境認証を取得済み又は取得予定の資産の購入、土地取得費、企画開発費、建設費、改修費用等に関する支出及びファイナンス 但し、i) グリーンボンドの発行日から遡って 24 ヶ月以内に竣工された物件もしくは環境認証を取得・更新したもの、ii) グリーンボンドの発行日以後に環境認証の取得が見込まれるものに限定する</p> <p>a. LEED : Platinum 又は Gold b. CASBEE（不動産評価認証又は建築認証） : S ランク 又は A ランク c. DBJ Green Building 認証 : 5 つ星又は 4 つ星 d. BELS 評価 : 5 つ星又は 4 つ星 e. BREEAM : Outstanding 又は Excellent</p>	<p>環境認証の種類及び等級</p>
--------------------------	--	--------------------

発行体の責任

SMFL は、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、SMFL のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、SMFL の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関して SMFL から提示された情報と事実とに依拠しています。SMFL が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果³、すべての重要な側面において、SMFL のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の用途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。SMFL は、サステナリティクスに対し、グリーンボンドの調達資金が 2021 年 12 月 31 日時点で全額充当されたことを開示しました。

³ サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途クライテリア	2020年3月から2021年12月の間にグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2020年3月から2021年12月の間にグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表1に示されているインパクト指標と適合する形で報告されたかを検証。報告されたインパクト指標の一覧は参考資料1を参照。	審査したすべてのプロジェクトにおいて、フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対するインパクト指標が報告されていました。	該当なし

参考資料

参考資料 1：インパクト・レポートと調達資金の充当状況

調達資金の用途 の категория	サブ カテゴリー	プロジェ クト数	報告されたインパクト指標		調達資金の 充当額 (百万円) ⁴
			年間発電量 (kwh) ⁵	年間 CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂) ⁶	
再生可能 エネルギー	太陽光発電	1	71,522,492	32,400	10,931
再生可能 エネルギー	風力発電	1	56,714,342	25,692	3,992
充当額合計：					14,923
未充当額合計：					0
グリーンボンド発行による調達資金の手取り金合計：					14,923

⁴ 各カテゴリーへの調達資金の充当額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

⁵ 出力規格に基づく理論値。尚、太陽光発電に関するプロジェクト 1 件については、運転開始時期が 2021 年 5 月となり基準日（2021 年 12 月 31 日）までの実際の運転期間は 1 年未満となります。

⁶ 出力規格に基づく理論値。尚、太陽光発電に関するプロジェクト 1 件については、運転開始時期が 2021 年 5 月となり基準日（2021 年 12 月 31 日）までの実際の運転期間は 1 年未満となります。

免責事項

© Sustainalytics 2022 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステイナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステイナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時時点のサステイナリティクスの意見を反映しています。サステイナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

本書は日本語で作成されました。日本語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は日本語版が優先されるものとします。

サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020年には、Climate Bonds Initiativeにより、3年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance誌により、2年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。

